

項目	公共住宅建築工事積算基準			公共建築工事積算基準(新営建築工事)				公共建築工事積算基準(改修建築工事)			
共通仮設費率	│ │ 直接工事費	1 千万円以下	1 千万円以上	直接工事費	1 千万円以下	1 千万円以	1 F	直接工事費	 5 百万円以下	5 百万円以上	
	上限		12. 311 × P ^{-0. 073279}	上限	4. 33 %	5. 78 × P ⁻⁰ .		上限	6. 07 %	11. 74 × P ^{-0. 0774}	
	 共通仮設費率	I.				定式により算定され		共通仮設費率		 ばにより算定された率	
	下限		8. $525 \times P^{-0.073279}$	下限	3. 25 %	$4.34 \times P^{-0}$		下限	3.59 %	$6.94 \times P^{-0.0774}$	
	算定式 Kr=16.331×P ^{-0.200} ×T ^{0.421} ただし、Kr:共通仮設費率(%) P:直接工事費(千円)とし、1千万円以下の場合は1千万円として扱う T:工期(か月) Krの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。			算定式 Kr=7.56×P ^{-0.1105} ×T ^{0.2389} ただし、Kr:共通仮設費率(%) P:直接工事費(千円)とし、1千万円以下の場合は1千万円として扱う T:工期(か月) Krの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。				算定式 Kr=18.03×P ^{-0.2027} ×T ^{0.4017} ただし、Kr:共通仮設費率(%) P:直接工事費(千円)とし、5百万円以下の場合は5百万円として扱う T:工期(か月) Krの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。			
共通仮設費率に含む内容	準備費 整地整理,その他準備に要する費用				· 佳 /	世弟	数明 / 並 🖰	の担合〉 その単進出	- 西士 2 弗田		
		整地整理、その他準備に要する費用現場事務所、倉庫、下小屋、作業員施設等				準備費 整地整理(新営の場合)、その他準備に要する費用 た記されました。					
	│ 仮設建物費 │ │		^{室、作業} 貝施設寺に要する こよるイメージアップ費を		仮設建物費 監督員事務所(敷地内), 現場事務所(敷地内), 倉庫, 下小屋, 作業員施設等に要する費用, ただし, 設計図書によるイメージアップ費を除く。						
	工事施設費	場内通信設備等の工事用し、設計図書によるイメ		I.	工事施設費 場内通信設備等の工事用施設に要する費用。ただ し、設計図書によるイメージアップ費用を除く。						
	環境安全費	安全標識,消火設備等のが 生及び補償復旧に要する	施設の設置, 隣接物等の養 費用		環境	環境安全費 安全標識,消火設備等の施設の設置,隣接物等の養 生及び補償復旧に要する費用					
	動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事 用並びに工事用電気・水	用給排水設備に要する費 道料金等		動	動力用水光熱費 工事用電気設備及び工事用給排水設備に要する費 用並びに工事用電気・水道料金等					
	屋外整理清掃費	開費 屋外及び敷地周辺の跡片付け及びこれに伴う屋外 発生材処分等に要する費用			屋外整理清掃費 屋外及び敷地周辺の跡片付け及びこれに伴う屋外 発生材処分等に要する費用						
	機械器具費	共通的な工事用機械器具費(測量機器, 揚重機械器 具, 雑機械器具費) に要する費用				機械器具費 測量機器及び雑機械器具費に要する費用 その他 コンクリートの圧縮試験費,鉄筋の圧接試験費,そ					
	その他	コンクリートの圧縮試験費,鉄筋の圧接試験費,そ の他上記のいずれの項目にも属さないもののうち 軽微なものの費用				の他上記のいずれの項目にも属さないもののうち 軽微なものの費用					
現場管理費率	純工事費	1 千万円以下	1 千万円以上	純工事費	1 千万円以下	1 千万円以	人上	純工事費	5 百万円以下	5 百万円以上	
	上限		19. $188 \times Np^{-0.046328}$	上限	20. 13 %	75. 97 × Np ⁻		上限	26. 86 %	$184.58 \times Np^{-0.2263}$	
	 現場管理費率		ばにより算定された率	現場管理費率	現場管理費率算	定式により算定され	た率	現場管理費率	現場管理費率算定式	 ばにより算定された率	
	下限		$13.061 \times Np^{-0.046328}$	下限	10.01 %	37. 76 × Np	0. 1442	下限	12. 70 %	$87.29 \times Np^{-0.2263}$	
	算定式 Jo=26.363×Np ^{-0.181} ×T ^{0.443} ただし、Jo:現場管理費率(%) Np:純工事費(千円)とし、1 千万円以下の場合は1 千万円として扱う T:工期(か月) Jo の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。			算定式 Jo=151.08×Np ^{-0.3396} ×T ^{0.5860} ただし、Jo:現場管理費率(%) Np:純工事費(千円)とし、1千万円以下の場合は1千万円として扱う T:工期(か月) Joの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。				算定式 Jo=356. 20×Np ^{-0.4085} ×T ^{0.5766} ただし、Jo:現場管理費率(%) Np:純工事費(千円)とし、5百万円以下の場合は5百万円として扱う T:工期(か月) Joの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。			
一般管理費等率			工事原価	5 百万円以下		を超え 30 億円以下	30 fi	意円を超える			
	一般管理費等率		17. 24 %	一般管理費等率算定式に より算定された率			8. 43 %				
	ただし、Gp: 一般管 Cp: 工事原価(千円 Gp の値は、小数点」			引) 以下第 3 位を四捨五入として 2 位止めとする。							
			!約約款第4条を採用する場 覆行の確保等に関する法律 ₋						積等により算出し,一般	段管理費等に加算する。	